

稲毛・稲毛ソーブランド 2011年3月

栄町の巡礼者・ぱおさんから稲毛・稲毛ソーブランドのレポートをいただきました。以前はHPがあったのですが、いつのまにかなくなって。。 情報がほとんどないお店にチャレンジしてきたとのこと。

single15000 シリーズのレポート第3弾。

李白にまだ行っていませんが、むしろもっと皆さんが期待していたのではないかというレポートです。行ってきましたよ、稲毛こと、稲毛ソーブランド。でも、千葉県全制覇はやりません。やらないってば(^^; きっとやってくれると思ってますw (ミネさえクリアできれば。。)

つい、出来心で・・・

なぜに行く気になったのか。自分でもよくわからないのですが、財布と気分 の兼ね合いがちょっと熟女としてみたかったんでしょう、津田沼での仕事の 後にロビンさんの携帯サイトで調べて電話してみます。電話にでたのは女性の声。「稲毛です」と言われたようで、つい「稲毛ソーブランドさん？」と聞き返してしまいます。とりあえず希望の時間を告げてみると、「ええ、大丈夫ですよ。」となにやら素っ気無いお返事。きっちり予約を取るとかない感じです。「じゃあお願いします。」と告げると、「女の子の好みとかありますか？」と聞かれたので、つい、「細身で若い子」と答えてしまいました。こちらとしては、30代くらいのつもりで言っていたのですが・・・

道に迷ったw

総武線の稲毛に到着。以前にちょっと調べたことがあって、京成稲毛駅の駅前通りにあることは知っていたので、まずは京成稲毛へと向かいますが・・・道を間違えました。orz 京成稲毛駅入口なるバス亭を見かけたものの、住宅地をかなり歩き、、、 ”えきうら通り” なるところによく出ます。総武線の稲毛駅周辺は銀行のビルなどもあるオフィス街らしさがあるのですが、京成稲毛周辺はいわゆる私鉄の駅らしく、改札を出てすぐに商店街といった感じ。しばらく歩くと、どこかのブログで紹介されていたピンクの看板ではなく、水色のちょっとシャレた感じの看板があり、稲毛ソーブランドと書いてあります。曲がって10Mちょっとの路地の先には、看板の文字を読まなければ、まるで街医者の家のようなお店があります。

参照、[古今東西風俗散歩さん](#)

中はきれいです

その存在の怪しさとは裏腹に、中に入るときれいに整えられた店内で、受付には40代後半～くらいのやさしい感じのおばちゃんがあります。電話したことを伝えると、「お待ちしてました。こちらで先にお支払いをお願いします」とのことので60分15Kを支払い、スリッパにはきかえてすぐ脇の待合室に入ります。待合室は4畳半ほどで、テレビと柄物のシーツをかぶせてある応接セットが置かれています。特にポスターも何も貼っていないごく普通の白い壁は、なんとなく栄町の赤い屋根を思い出します。一息つこうとタバコに火をつけ、受付のおばちゃんが相手なら大丈夫だな～ などと思っていると、すぐにご案内がかかります。

登場したのは・・・

待合室を出て、すぐそばに嬢がいますが・・・え？という感じです。ゼブラ柄のドレスにヒョウ柄のケープを羽織った嬢は・・・どうみても20代前半。目元のメイクばっちり、ある意味私の苦手なタイプ・・・そして挨拶せずに「こっちです」とスタスタ。これは・・・正直、困ったw

お部屋は独特

階段を上った二階に部屋があり、それぞれきれいな看板がついています。磐梯とか箱根とか、なんだかペンションのような雰囲気です。部屋は6畳位かな？ちょっと狭めで、しかもガラスのスライドドアで浴室とベッドが仕切られています。浴室のシャワーがベッドに飛ばないようにするためなのかなあ。浴槽は家庭用の深めのバスで、足を伸ばしきれないくらいの大きさです。ちょっと壁紙がはがれているところがありましたがそれなりにきれいで今風の部屋です。嬢の私物なのか、あちこちにぬいぐるみが置いてあります。

会話が・・・

さて、嬢のほうですが・・・うん、やる気ありません。というか、何も話を切り出してくれず・・・困ったなあ。部屋に入るや、お湯を入れ始めてベッドに座ってそのままだまり。とりあえず、「いやー、びっくりしたなあ。こんな若くてかわいい子がでてるなんて～」というつかみからお湯が溜まるまでなんとかつなぎます。22歳だそうで、もう一人同い年の子と、26歳もいるとのこと。上はどのくらいなのかも聞いておけばよかったなあw

なんだかなあ

お湯が溜まったところで、こちらから誘ってお風呂に。うん、洗うのも肝心なところをざっと洗うだけです。こちらが湯船に使っている間に自分がシャワーを浴びるときにもしづきがかかるし。なんとなく、まさかの合体なしの店かな～なんて思っていると、後ろ向きながら湯船と一緒に入ってきたので、湯船の中でさわさわもみもみ開始。うーん、反応が薄いんだが、堪えているんだかわからない・・・結構長いことそんなことをしていたので、「あがるっか？」と、ベッドでという意味かははっきりしないニュアンスで言われて上がります。

マグロですけど

体を拭いた後、変に会話になると続かないので、「それじゃあ・・・」と言って、ベッドでの試合開始。はい、予想通り嬢がごろんです。体の傷がちょっと気になりますが、それなりに若くて悪くはないスタイルなので、全力で攻めてみます。さすがにそれなりに反応があり、どうもクリが弱点のようで、結構反応あり。ならばと集中攻撃すれば、だんだんとあそこも滑らかになってきます。ゆっくりと指いれしながらクリをなめれば、かなりの反応あり。徹底的に攻め立てます。反応のよさに息子も元気になってきたので、何もさせないのもなんなので、濡れた指を顔につけながら、「ほーら、どうする？」と息子を見せつけます。そこでようやくFをして・・・すぐにG着かあ。「じゃあ入れるぞうっ」と一方的に宣言して、正上位で合体へ。おおっと、入れていくと一段と高い鳴き声に。あそこの締めりも悪くなく、激しく動けば大きく鳴き、結構本気モードの様子。それならそれで反応を楽しませてもらい、一度

バックを挟んで、正上位に戻ってフィニッシュ。・・・そのまま動かないから自分でGの始末することになりましたけどね。

上がり

終わった後、シャワーを浴びて、言葉少ないながらマットはほとんどしないとか、それなりに指名客がいるとかを話して、5分ほど早いのですが、着替えて退出。玄関まで行き、先ほどのおばちゃんの前ではマニュアル対応なのか、正座してお見送りです。おばちゃんは外まで出てきて、「いかがでしたか？」とちょっと心配そうに聞いてきます。「ま、若いからねえ」と、なんとなくニュアンスで伝えておきます。「また、よろしければ他の子でもぜひ」と言われ、「はい、また」と答えて路地を出ます。素直におばちゃんはお相手しないのかを聞けばよかったかなあと思いつつ、稲毛商店街を歩いていきました。

補足

価格は改定されているようです。受付の料金表記では60分15K、延長20分5Kです。当然、写真なんてものはないです。指名料もないみたいですが。しかし、予想外でしたねえ。20代がいることもあるでしょうが22とは。それなりに世代交代をしていくのでしょうか、地域的に栄町の格安店でも、お茶ひく嬢が流れてきている可能性もありそうで、嬢の教育を頑張りたいものです。お店の内装はちょっと特殊ですがそれなりにきれいですし、おばちゃんの感じの良さには、もう一回試してみたくはあります。店の外観を写真を撮ろうと思ったのですが、周りが暗くて、携帯のカメラではうまく写りませんでした。

ロビンの感想

予想外の結果でしたね。仕事で稲毛に行った時に看板の前を通り過ぎたことがあるのですが。。さすがによっていこうとは思いませんでした。いずれにしてもおばちゃんの件も含めて・・・再チャレンジですか？千葉補完計画もよろしくですw